

日本植物形態学会第 37 回総会・大会（福岡大会）のご案内（第 3 回）

大会会長：高野 博嘉（熊本大：日本植物形態学会会長）

大会実行委員長：武智 克彰（熊本大：日本植物形態学会庶務幹事）

大会準備委員長：林 八寿子（新潟大）

大会準備委員：松崎 令（大阪工業大）

大会会計委員長：小林 優介（茨城大：日本植物形態学会会計幹事）

1. 開催日

2025 年 9 月 17 日（水）（受付開始 12:30 より）

2. 会場

福岡国際会議場 5F 国際会議室 501

〒812-0032 福岡県福岡市博多区石城町 2-1

<https://www.marinemesse.or.jp/congress/access/>

3. プログラム

13:00-13:45 総会

13:45-14:00 授賞式

- 学会賞：対象者なし
- 平瀬賞：Xiaoyan Liu, Kohdai P. Nakajima, Prakash Babu Adhikari, Xiaoyan Wu, Shaowei Zhu, Kentaro Okada, Tomoko Kagenishi, Ken-ichi Kurotani, Takashi Ishida, Masayoshi Nakamura, Yoshikatsu Sato, Yaichi Kawakatsu, Liyang Xie, Chen Huang, Jiale He, Ken Yokawa, Shinichiro Sawa, Tetsuya Higashiyama, Kent J. Bradford, Michitaka Notaguchi, Ryushiro D. Kasahara
Fertilization-dependent phloem end gate regulates seed size.
Current Biology (2025) 35: 2049-2063. DOI 10.1016/j.cub.2025.03.033
代表受賞者 中島 耕大 会員（慶應義塾大学）
- 奨励賞：北沢 美帆 会員（大阪大学）

14:05-14:45 講演会

◎平瀬賞受賞講演 (14:05-14:25)

「種子形成に不可欠な新組織の発見とその機能解析」

中島 耕大 会員

◎奨励賞受賞講演 (14:25-14:45)

「植物発生の数理モデリング：器官の数と配置の決まり方」

北沢 美帆 会員

15:00-16:20 ポスターフラッシュ (注1)

16:30-19:00 ポスター発表／ポスター賞表彰 (注2)

奇数番号：16:30-17:30、偶数番号：17:30-18:30、表彰式；18:45-19:00

(番号については後掲の一般講演プログラムをご覧ください)

注1) 事前提出していただいた概要の PDF をスクリーンに投影いたします。持ち時間 (60 秒) 以内でマイクを用いて口頭発表してください。概要は PDF ファイル (A4 横向き：3 MB 以内) 1~2 枚にまとめて、9 月 8 日 (月) 17:00 までに e-mail で大会準備委員 (大阪工業大・松崎 令；ryo.matsuzaki@oit.ac.jp) までお送り下さい。その際、ファイル名は「形態学会ポスターフラッシュ_氏名.pdf」、電子メールのタイトルは「形態学会ポスターフラッシュ_氏名」としてください。なお、ファイルを e-mail で送信できない方は、事前に e-mail で上記大会準備委員 (松崎) まで連絡の上ご相談ください。

注2) ポスター賞の対象は、学生が代表者として発表するポスター限定です。投票権は福岡大会に参加した一般会員のみにあります。

※ 大会参加者の皆様は、受付 (501 会場出入り口付近：12:30 開始) にて名札をお受け取りください。

※ ポスターの貼り付けは 12:30 から可能です。ポスターセッション終了後は、速やかにポスターを回収してください。

※ ポスター賞の投票は 18:30 までに、受付でお渡しするネームカードに記載してある方法 (Google form) でご投票ください。

4. ポスター発表プログラム（要旨提出順、発表者は○、学生演者（ポスター賞対象者）は下線）

P-001 シロイヌナズナアクチン脱重合因子の欠損は細胞核内アクチン繊維の構造を変化させる

○松本朋子¹、尾崎敦哉¹、檜垣 匠²、稲田のりこ¹

¹大阪公立大・院・農学、²熊本大・院・理学

P-002 種子の形態形成から見たウイルスの種子伝染

○松下陽介、今村友哉、太田江美、久保田健嗣

農研機構・植防研

P-003 花粉非対称分裂における細胞骨格の役割

○水多陽子、五十嵐雅子、品川智美、金城行真、阿南羽音、栗原大輔

名大・ITbM

P-004 イネ種子初期吸水過程における胚の形態的变化と遺伝子発現の解析

○山内大輔¹、中井朋則¹、峰雪芳宣¹、星野真人²、上杉健太郎²、玉置大介³、
唐原一郎³

¹兵庫県大・院・理、²高輝度光科学研究センター、³富山大・学術・理

P-005 麻酔処理が植物の傷害応答遺伝子と植物ホルモンの与える影響

○岩渕モカ¹、平山朔也¹、柴田恭美³、湯本絵美³、宮本皓司^{1,2,3}、陽川 憲⁴、
朝比奈雅志^{1,2,3}

¹帝京大・院・理工、²帝京大・総合理工、³帝京大・先端機器分析セ、

⁴北見工業大・工生命

P-006 FRAP を用いた水ストレス依存的に生じる MIZ1 凝集体の液-液相分離挙動の解析

○秋田幸太郎¹、佐藤 輝²、松永幸大²、宮沢豊³

¹山形大・院・理工、²東大・院・新領域・先端生命、³山形大・理

P-007 タイ類イチョウウキゴケの陸上・水上型形態変化に伴う代謝プロファイル比較解析

○多部田弘光¹、平井優美^{1,2}

¹理研 CSRS、²名古屋大・院・農

P-008 コレオケータの藻体形成に対する細胞骨格阻害剤の影響

川平智都¹、唐原一郎²、○玉置大介²

¹富山大・院・理工、²富山大・学術・理

P-009 テンサイ主根の肥大成長を支える二次維管束発生制御機構の解析

○小塚俊明¹、Srisuthep Namthip¹、清水佑真¹、朝比奈雅志^{2,3}、黒田洋輔⁴、
伊藤正樹¹

¹金沢大学・理工、²帝京大学・理工、³帝京大学・先端機器分析セ、

⁴ 農研機構・北農研セ

P-010 一葉植物モノフィレアにおける光情報伝達経路を介した子葉の運命決定機構の解明に向けて

○中村駿志¹、相馬 愛²、田野井慶太郎²、塚谷裕一¹

¹ 東京大・院・理、² 東京大・院・農

P-011 広域および連続切片 SEM 法を用いた酸性膜脂質のエチオプラスト分化に果たす役割の解明

○上床理紗¹、吉原晶子²、小林啓子¹、高橋綾子¹、大崎有美¹、小林康一²、永田典子¹

¹ 日本女子大・院理、² 大阪公大・院理

P-012 浸透圧ストレス誘導性液液相分離を示す ABA 合成新規制御因子の機能解析

○佐藤 輝^{1,2}、藤本 聡³、藤田美紀¹、高橋史憲²、桑田啓子⁴、松永幸大^{1,3}、篠崎和子^{5,6}、篠崎一雄²

¹ 東京大・院・新領域、² 理研・環境資源科学研究セ、³ 東理大・理工、⁴ 名大・ITbM、

⁵ 東大・農学生命科学、⁶ 東京農大・農生命科学研

P-013 卵細胞との片側受精を示す精細胞特異的遺伝子変異体の解析

○筒井大貴¹、水多陽子²、佐瀬英俊¹

¹ 沖縄科学技術大学院大学、² 名古屋大学・ITbM

P-014 アメーバと微細藻類の光共生による貧栄養環境への適応

○佐藤歩美^{1,2}、岡田 薫^{1,2}、宮城島進也²

¹ 総研大・遺伝学、² 遺伝研・遺伝形質

P-015 葉肉細胞における垂直軸の光ストレス勾配

○加藤優太、上妻馨梨、伊福健太郎

京大・院・農

P-016 シロイヌナズナにおける ANAC および DOF 転写因子による異所的維管束分化の制御

松岡啓太¹、佐藤良介¹、大場裕介¹、柴田恭美¹、近藤侑貴²、○朝比奈雅志^{1,3}

¹ 帝京大・理工・バイオ、² 大阪大学・院・理、³ 帝京大学・先端機器分析セ

P-017 シロイヌナズナ花粉管発芽・伸長過程における翻訳に関連したイメージング解析

○XU Mengchan¹、木林有理子²、丸山大輔³、齋藤あゆみ²、竹田篤史¹、元村一基²

¹ 立命館大・院生命、² 立命館大・総研、³ 横浜市大・木原生研

P-018 スイカの果実のしま模様を器官成長とパターン形成を導入した細胞ベースの数値モデルで再現する

藤原基洋

理研・BDR

P-019 Developing Different Transformation Strategies for Non-model *Callitriche* species

○金 知亮、上村智稀、ドル有生、古賀皓之、塚谷裕一

東大・院・理

P-020 葉の構造斑入りに関する研究

○平澤実禄、塚谷裕一

東大・院・理

P-021 ワニグチモダマ *Mucuna gigantea* (マメ科トビカズラ属) の花形態と送粉者

○鶴田 萌¹、伊澤雅子²、小林峻²、傳田哲郎²

¹琉球大・院・理工、²琉球大・理

P-022 オオバコ科アワゴケ属の完全水生植物と水陸両生植物の光合成の特徴

○溝口大樹、古賀皓之、塚谷裕一

東京大・院・理

P-023 シロイヌナズナのシュート再生過程における WUS 発現細胞動態とその制御機構

○ドル有生、池内桃子

奈良先端大・バイオ

P-024 タバコ未成熟花粉培養系による細胞運命リプログラミング機構の解明

○小崎康裕、池内桃子

奈良先端大・バイオ

P-025 人工デバイスを用いたシロイヌナズナ根の重力応答性の評価

○四方明格^{1,2}、森田（寺尾）美代^{1,2}

¹自然科学研究機構・基生研、²総研大・先端学術院

P-026 硫酸酸性温泉に生息するイデユコゴメの冬季の非増殖状態でのエネルギー利用戦略

○辻野 代¹、藤原崇之^{1,2}、廣岡俊亮²、山下翔太²、周 柏峰²、宮城島進也^{1,2}

¹総研大・生命科学、²遺伝研・遺伝形質

P-027 シロイヌナズナ胚軸間接ぎ木での組織間コミュニケーションの解明に向けて

○大場裕介¹、山田一貴¹、松岡啓太¹、光田展隆²、黒谷賢一³、野田口理孝^{3,4}、朝比奈雅志^{1,5}

¹帝京大・理工、²産総研・バイオものづくり、³京都大・院・理、⁴名古屋大・生物機能開発利用、⁵帝京大・先端機器分析セ

P-028 硫酸酸性温泉に生息する多様な真核生物群の発見

○砂田友輝^{1,2}、辻野 代^{1,2}、山下翔太²、周 柏峰²、廣岡俊亮²、藤原崇之^{1,2}、

宮城島進也^{1,2}

¹ 総研大・遺伝学、² 遺伝研・遺伝形質

P-029 単細胞藻類を用いた葉緑体 DNA の複製・修復機構の解析

○海老原美紀、小林優介

茨城大・院・理工学

P-030 シロイヌナズナ新規葉緑体包膜タンパク質の遺伝子破壊による葉緑体の膨潤

○中窪まりん¹、矢渡明花¹、武智克彰²、高野博嘉²

¹ 熊本大・院・自然科学、² 熊本大・院・先端科学

P-031 シロイヌナズナの核膜孔複合体が関与するシュート再生メカニズムの解析

○伊藤ななみ¹、佐藤輝¹、岩瀬 哲²、森中初音²、河村彩子²、杉本慶子²、
松永幸大¹

¹ 東大・院・新領域・先端生命、² 理研・環境資源科学

P-032 コノフィツムの葉の形態と発生

○石井修都

東大・院・理

P-033 重イオンビームで作出したトレニアの蜜標欠損変異体 *nectar guideless 1* の解析

○小川馨乃子¹、黛 隆宏¹、小越咲子²、篠山治恵¹、畑下昌範³、高城啓一³、
阿部知子⁴、風間裕介^{1,4}

¹ 福井県大・院・生物資源、² 福井高専・電子情報、³ 若エネ研・生物資源、

⁴ 理研・仁科センター

P-034 シロイヌナズナ子葉細胞での光で駆動するリピッドボディ消失機構の解析

矢吹悠太郎¹、平野貴郎²、及川聡和³、真野昌二⁴、西村幹夫⁵、村田和義⁶、
○林 八寿子¹

¹ 新潟大・院・自然、² 新潟大・理、³ 基生研・オルガネラ制御、⁴ 基生研、共生システム、

⁵ 甲南大・理工・生物、⁶ 自然科学研究機構・生命創成探究センター

P-035 X線 μCT データを用いたヒメツリガネゴケ茎葉体の三次元形態解析

○田端桂介¹、八木原直樹¹、千龍海夕¹、山浦遼平¹、玉置大介²、蒲池浩之²、
小塚俊明³、山内大輔⁴、峰雪芳宣⁴、星野真人⁵、上杉健太郎⁵、日渡祐二⁶、
半場祐子⁷、久米 篤⁸、藤田知道⁹、唐原一郎²

¹ 富山大・院・理工、² 富山大・理、³ 金沢大・理工、⁴ 兵庫県大・院・理、⁵ 高輝度光科学研究
セ、⁶ 宮城大・食産、⁷ 京工繊大・応用生物、⁸ 九大・院・農、⁹ 北大・院・理

P-036 ヒメツリガネゴケの 5 つの新規 LysM ドメイン含有タンパク質 Lym の葉緑体局在と機能解析

○宮崎敬佑¹、迫田朋樹¹、武智克彰²、高野博嘉²

¹熊本大・院・自然科学、²熊本大・院・先端科学

P-037 シロイヌナズナ塊根様組織 iMO の形成過程における遺伝子発現解析

○坂本卓也¹、内山健太郎¹、藤村悠将¹、鈴木孝征²、松永幸大³

¹神奈川大・理、²中部大・応用生物、³東大・院・新領域

P-038 シロイヌナズナにおける mintbody を用いたヒストンアセチル化のライブイメージング解析

○虎岩美咲希¹、坂本卓也¹、花俣 繁^{1,2}、澁田未央³、佐藤優子⁴、木村 宏⁵、

松永幸大⁶

¹神奈川大・理、²東理大・薬、³山形大・理・理、⁴九大・生医研、

⁵Science Tokyo・総合研究院・細胞センター、⁶東大・院・新領域

P-039 シロイヌナズナ培養細胞におけるハウ素のクロマチン構造への影響解析

○小松綾音¹、花俣 繁^{1,2}、浦口晋平^{3,4}、中村優月³、清野正子³、坂本卓也¹

¹神奈川大・理、²東理大・薬、³北里大・薬、⁴千葉大・園芸

P-040 G2/M 期制御に重要な MYB3R 転写活性化因子の配偶体形成における機能の解析

○千賀理保子¹、野本友司²、岩川秀和²、山岡尚平³、伊藤正樹²

¹金沢大・院自然科学・生命理工、²金沢大・理工・生命理工、³京大・院・生命科学

P-041 シロイヌナズナ自然系統におけるセントロメアの核内配置解析

○矢野賢人¹、朽名夏磨²、佐々木江理子³、坂本卓也¹

¹神奈川大・理、²エルピクセル (株)、³九大・院・理

P-042 イチョウ組織培養系を用いた維管束発生の分子機構の解析

○古谷朋之¹、安井馨市²、島津舜治^{1,2}、近藤侑貴^{1,2}

¹大阪大学・院・理、²神戸大学・院・理

P-043 トレニア属ウリクサにおける異質倍数体系統の進化プロセス

○八廣遥斗¹、奥田哲弘¹、白澤健太²、菊池真司³、東山哲也¹

¹東大・院・理、²かずさ DNA 研究所、³千葉大・園芸

P-044 愛知県新城市のオハツキイチョウの特性について

呂 虹橋¹、彦坂歩美¹、藤井友香¹、古橋龍馬¹、堀田紗優美¹、内田美重^{1,2}、

佐藤征弥³、山下博史⁴、小林正美⁵、景山伯春²、井上和仁^{6,7}、○内田英伸^{1,7}

¹名古屋文理大・フードビジネス、²名城大・院・総合学術、³徳島大・院・社会産業理工、

⁴京都府大・院・生命環、⁵筑波大・物質工学域、⁶神奈川大・化学生命、

⁷神奈川大・総理研

P-045 寄生植物アメリカネナシカズラにおける虫こぶ誘導機構

○別所-上原奏子¹、土田 努²

¹ 東北大・院・生命、² 富山大・理

P-046 ゼラニウム卵細胞における巨大ミトコンドリアの膜構造解析

○津田安咲子¹、高橋綾子²、黒岩晴子²、黒岩常祥²、永田典子^{1,2}

¹ 日本女子大・院理、² 日本女子大・理

P-047 マンテマ属における性決定遺伝子 GSFY オートログの進化

○小林壮生¹、篠原秀文¹、池田美穂¹、西嶋 遼¹、Dmitry A Filatov²、風間裕介¹

¹ 福井県大・院・生物資源、² オックスフォード大学・生物

P-048 植物の発生・成長に関わる NRL family のゼニゴケにおける機能解析

○二見華琳¹、柚木湊人²、榎本悟史^{3,4}

¹ 北大・理・生物科学、² 北大・院・生命科学、³ 北大・院・理、⁴ JST さきがけ

P-049 Investigating Leaf Development and Morphology in *Ceratopteris richardii*

○Madeline Prevec、Hokuto Nakayama、Hirokazu Tsukaya

Grad. Sch. Sci., Univ. Tokyo

P-050 ペプチドグリカン合成阻害剤によるストレプト藻類 *Mesostigma viride* の細胞数の減少

○安本健人¹、武智克彰¹、佐藤直樹²、高野博嘉¹

¹ 熊本大学・院・自然科学教育、² 東京大学・院・総合文化

P-051 ヒメツリガネゴケ形態形成過程における PIN 依存オーキシン輸送の役割と制御

○末満寛太¹、藤田知道²、榎本悟史^{2,3}

¹ 北海道大・院・生命科学、² 北海道大・院・理、³ JST・PRESTO

P-052 オオバコ科の水草ミズハコベの異質倍数体ゲノムと水陸両生の生活型との関係

○古賀皓之、塚谷裕一

東大・院理

P-053 微小重力がヒメツリガネゴケ仮根の三次元形態に及ぼす影響

○八木原直樹¹、若林孝尚²、山浦遼平¹、玉置大介³、蒲池浩之³、山内大輔⁴、

峰雪芳宣⁴、星野真人⁵、上杉健太郎⁵、嶋津 徹⁶、笠原春夫⁷、鎌田源司⁸、

鈴木智美⁹、日渡祐二¹⁰、半場祐子¹¹、久米 篤¹²、藤田知道¹³、唐原一郎³

¹ 富山大・院・理工、² 富山大・理、³ 富山大・学術・理、⁴ 兵庫県大・院・理、

⁵ 高輝度光科学研究センター、⁶ 日本宇宙フォーラム、⁷ 有人宇宙システム、⁸ AES、⁹ JAXA、

¹⁰ 宮城大・食産、¹¹ 京工繊大・応用生物、¹² 九大・院・農、¹³ 北大・院・理

P-054 細胞周期遺伝子 SCL28 による細胞サイズ制御機構の解析

○薄井さくら¹、阿部壮真¹、小塚俊明¹、笹部未知子²、伊藤正樹¹

¹金沢大・理工・生命、²弘前大・農学生命・生物

P-055 他殖性 *Torenia* 属植物の種間交雑における生殖障壁の解析

○内山颯太、奥田哲弘、東山哲也

東京大・院・理

P-056 光条件がシロイヌナズナの堅固な茎形成に及ぼす影響の解析

○畠中洸土郎¹、大橋桃花²、高橋大輔²、横山俊哉³、西谷和彦³、坂本卓也³、
浅岡真理子³

¹神奈川大・院・理、²埼玉大・院・理学、³神奈川大・理・理

P-057 ヒメツリガネゴケの葉緑体ペプチドグリカンに関わる D-アミノ酸合成酵素の探索と機能解析

○吉元清夏¹、武智克彰²、中村陸人¹、鹿毛海也³、伊藤智和⁴、高野博嘉²

¹熊本大学・院・自然科学、²熊本大学・院・先端科学、³熊本大学・理、

⁴名古屋大学・院・生命農学

P-058 卓上 X 線スキャナーと X 線顕微鏡による大葉（アオジソ）の非破壊内部観察の比較検討

○池田春樹、大井崇生

高知工科大・理工

P-059 ネジバナの単一受精を導く細胞周期停止

○福村 薫¹、水上 茜^{1,2}、東山哲也¹

¹東京大・院・理、²愛知学院大・教養

P-060 ゼニゴケにおけるオーキシン極性輸送による発生制御の解析

○柚木溪人¹、二見華琳²、檜本悟史^{3,4}

¹北大・院・生命科学、²北大・理、³北大・院・理、⁴JST さきがけ

P-061 ヒドラ光共生系におけるクロレラ類緑藻の共生能と宿主細胞内分布

○河野雛子¹、山岸大祐¹、濱田麻友子²、丸山真一郎¹

¹東京大学・院・新領域、²岡山大学・臨海

P-062 地上部の重力感受細胞における LZYZ タンパク質の局在解析

○河本隆子¹、四方明格^{1,2}、森田（寺尾）美代^{1,2}

¹総研大・先端学術院・基礎生物学、²自然科学研究機構・基生研

P-063 トレニアフリル変異体の花弁形態の変化および植物ホルモン内生量の変動

○黛 隆宏¹、石井公太郎²、畑下昌範³、高城啓一³、小嶋美紀子⁴、竹林裕美子⁴、
榊原 均^{4,5}、東山哲也⁶、阿部知子⁷、風間裕介^{1,7}

¹福井県大・院・生物資源、²量研機構・放医研、³若エネ研・生物資源、⁴理研・CSRS、

⁵名大・院・生命農学、⁶東京大・理・生物科学、⁷理研・仁科センター

P-064 Inferring Cell Division Events Based on Cell Geometry: A Revision of

Classical Cell

Zining WANG¹、OYujie ZHAO¹、Yasuhiro INOUE²、Atsushi MOCHIZUKI³、
Hirokazu TSUKAYA¹

¹Grad. Sch. Sci., Univ. Tokyo、²Dept. Micro Eng., Kyoto Univ.、

³Inst. Front. Life Med. Sci., Kyoto Univ.

P-065 細胞周期を制御する DREAM complex のサブユニット構成の研究

○畠中陽平¹、峯田敬斗¹、岩川秀和²、西内 巧³、笹部美知子⁴、伊藤正樹²

¹金沢大学・院・生命、²金沢大学・理工・生命、³金沢大学・疾患モデル総合研究センター、⁴弘前大学・農・生物

P-066 異質三倍体形成を介した異質倍数体確立経路の解析

平松芳章¹、水多陽子^{2,3}、東山哲也⁴、○栗原大輔^{2,3}

¹名古屋大・院・理、²名古屋大・ITbM、³名古屋大・IAR、⁴東京大・院・理

P-067 クラミドモナスで蛍光タンパク質を使いやすく

○中村陽世里、高木杏子、海老原美紀、水木結唯、小林優介

茨城大・理・生物科学

P-068 ミドリトクダミ (*Houttuynia cordata* f. *viridis*) の苞葉形成の多様性に関する形態学的解析

○遠藤みづほ¹、岩元明敏^{1,2}

¹神奈川大・院・理・生物科学領域、²神奈川大・理・生物

P-069 Hi-C 解析で明らかにする緑藻ボルボックス雌雄性染色体の新生

○高橋昂平^{1,2}、山本荷葉子³、鈴木重勝^{4,5}、松崎 令⁶、山岸潮音²、豊岡博子⁷、
植木紀子⁸、山口晴代⁴、関本弘之³、河地正伸⁴、田辺雄彦⁴、東山哲也²、
野崎久義^{2,3,4,8}

¹マックスプランク生物学研究所、²東京大・院理・生物科学、³日本女子大・理・化学生命科学、⁴国立環境研・生物多様性領域、⁵筑波大・生命環境、⁶大阪工業大・工・一般教育、
⁷法政大・生命科学・生命機能、⁸法政大・ボルボックスセンター(市ヶ谷)

P-070 シダ植物リチャードミズワラビにおけるホルモン動態と作用

○花田悠太¹、瓦吹英毅¹、檜本悟史^{2,3}

¹北大・院・生命科学、²北大・院・理学、³JST さきがけ PRESTO

5. 大会参加申し込み状況 (50 音順 : 8/28 時点、110 名)

秋田幸太郎、浅岡真理子、朝比奈雅志、池田春樹、石井修都、伊藤ななみ、岩根敦子、
岩渕モカ、岩元明敏、薄井さくら、内田英伸、内山颯太、宇都弘晃、上床理紗、海老原
美紀、遠藤みづほ、大井崇生、大場裕介、小川馨乃子、奥田哲弘、風間裕介、加藤篤史、

加藤優太、唐原一郎、河野重行、河野雛子、河本隆子、神田愛美香、北沢美帆、金 知亮、栗原大輔、古賀皓之、小崎康裕、小塚俊明、小林壮生、小林優介、小松綾音、坂本卓也、坂本 勇貴、迫田朋樹、佐々木成江、佐藤歩美、佐藤 輝、四方明格、末満寛太、砂田友輝、千賀理保子、高野博嘉、高橋昂平、武智克彰、田端桂介、多部田弘光、玉置大介、趙 宇杰、塚谷裕一、辻野 代、津田安咲子、筒井大貴、鶴田 萌、豊岡公德、虎岩美咲希、ドル有生、中窪まりん、中島耕大、永田典子、中野史弥、中村駿志、中村陽世里、野崎久義、畠中陽平、畠中洸士郎、幡野 恭子、花田悠太、林 八寿子、東山哲也、平川 健、平澤実禄、廣岡俊亮、福村薫、藤原 崇之、藤原基洋、二見華琳、古谷朋之、別所-上原 奏子、間合絵里、松崎 令、松下陽介、松永幸大、松本朋子、黛 隆宏、水多陽子、溝口大樹、峰雪芳宣、宮城島進也、宮崎敬佑、宮沢 豊、宮下貴文、八木原直樹、安原裕紀、安本健人、矢野賢人、八廣遥斗、山内大輔、山下翔大、矢渡明花、柚木溪人、吉元清夏、Prevec Madeline、Xu Mengchan、Zhou Baifeng

6. 日本植物学会第 89 回大会における共催シンポジウム

9 月 18 日（木）～ 9 月 20 日（土）に開催される日本植物学会第 89 回大会において、日本植物形態学会が共催するシンポジウム 1 件が以下のように開催されます。こちらにも奮ってご参加ください。

●一般シンポジウム（9 月 18 日（木）9：00～11：25、B 会場）

「生命原理を“見る”」

オーガナイザー：吉田 大和（東京大・院・理）

[シンポジウム概要]

植物生物学の歴史において、顕微鏡技術が果たした役割は特に大きい。ロバート・フックによる細胞壁の観察以来、様々な顕微鏡を使った解析によって植物細胞における形態・構造・動態の理解が大きく進んだ。そして現在、顕微鏡技術は新たな段階に入っている。超解像顕微鏡法などの光学の限界を超えた技術、そしてマイナス 196℃の冷却化で撮影するクライオ電子顕微鏡法は、細胞の構造をオングストロームレベルから捉えることを可能にした。本シンポジウムでは、これらの卓越した顕微鏡技術を扱う研究者を中心として、どのようにして生命原理を“見る”のか、議論する。

7. その他

1. 要旨集は 9 月初旬に学会ホームページに掲載する予定です。ダウンロードしてご利用下さい。
2. 特許出願予定の内容を含む発表をされる場合は、予め特許庁に所定の手続きをお取り下さい。
3. 大会についての連絡・お問い合わせ等は、下記までお願いいたします。
4. 本年度は大会後の懇親会は行いません。

[連絡先] 〒950-2181

新潟市五十嵐二の町 8050 新潟大学理学部

日本植物形態学会 第 37 回大会準備委員長 林 八寿子

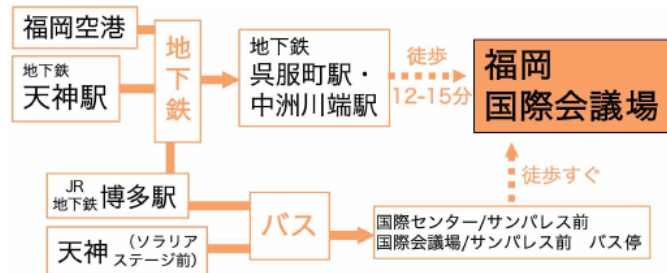
Tel/Fax: 025-262-6370

E-mail: yhayashi@env.sc.niigata-u.ac.jp

[大会当日連絡先]

日本植物形態学会 第 37 回大会実行委員長 武智克彰

＜参考＞ 大会会場へのアクセス



最寄りの駅からバスでお越しの方				
出発地	乗車バス停・バス番号	乗車時間	降車バス停	徒歩時間
JR博多駅 (博多口)	博多駅西日本シティ銀行前 Fのりば 99番	約12分	【博多ふ頭行】 国際センター サンパレス前 下車	徒歩すぐ
	博多駅西日本シティ銀行前 Fのりば 88番・BRT	約12分	【博多ふ頭行】 国際センター サンパレス前 下車	
西鉄・地下鉄 天神駅	ソラリアステージ前 2Aのりば 80番・BRT	約9分	【中央ふ頭行】 国際会議場 サンパレス前 下車	
地下鉄 呉服町駅	呉服町 (都市高速・蔵本方面) 80番・BRT	約7分	【中央ふ頭行】 国際会議場 サンパレス前 下車	

福岡国際会議場への詳細なアクセス情報



・大会会場案内

総会・三賞受賞講演・ポスター発表会場（国際会議場 5F）



・大会会場（国際会議室 501 レイアウト）

